



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社フジワラテクノアート —技術と伝統の融合を目指して—

5

岡山県は緑豊かな土地である。飛行機で岡山県を訪れると、岡山空港が近づくにつれ、森を縫うように飛行機が着陸態勢に入り、綺麗な緑が目に入ってくる。滑走路に着陸し駐機場所に向けて移動している間に飛行機の中から周囲の景色を楽しんでいると、緑の森に調和しながらもはつきりと自己主張している、白い壁と赤の下地を「F」の字に白色でくり抜いた鮮やかなロゴマークが視界に入る。株式会社フジワラテクノアートは、岡山空港に隣接する敷地に本社・所在地を構えている。本社の屋上部分には、同地への移転を決めた三代目の藤原善也前社長の肝いりである、飛行場の観覧室が設けられている。この透明なガラスで覆われた一室からは、空港を一望することが出来る。特に飛行機の離着陸時には轟音が轟き、迫力ある風景が繰り広げられる。子供を連れて来たら喜んで一日中見ているに違いない（資料1）。

10

15

15

## 醸造機械のトップメーカー、フジワラテクノアート

20

フジワラテクノアートは、1933年に岡山県富吉において、藤原研翁によって設立された（資料2）。現在の社員数は約100名、売上は約50億円前後を推移している。主な事業分野は、1) 醸造機械・プラント、2) バイオ機械・食品機械、3) 健康食品・バイオマスであり、特に醸造機械・プラントが事業の柱で売上の90%を締めている。フジワラテクノアートは創業以降、日本酒、焼酎、醤油、味噌などの醸造分野におけるパイオニア企業として、麹づくりの全自動無人化への未知を切り開いた。この醸造機械・プラント分野においては、原料処理から製麹、仕込み、発酵、圧搾工程におけるすべての機械を製作し、また全ラインを完全自動化するためのプラント製作も

25

25

本ケースは、クラス討議の資料とするために慶應義塾大学大学院経営管理研究科 渡辺直登教授の指導の下、黒須悟士（D17）によって作成された。経営管理の巧拙を記述したものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 渡辺直登、黒須悟士（2009年9月作成）